

12日 P.M. 9.00 - 9.00

12e1

超高空実験

(記録 小此木)

小此木 (世界の紹介 + 補従) 世界 1962年9月号 参照

1958年の米: 短波通信, radar に障害. 二小から,
通信通信 + 人工通信構想を考へる.

'61年秋のソ連実験の米 - テー 報告. 奇命の短波. 科学.
此の灰か低波. 短波に方向性

1st strike の 考へては無い.
A.H.M. の 体系は できないうちで ありう. 攻撃は, 防衛より 多くの 援 助 を 考へて いる.
二小から 超高空を 攻撃用 に つかえる.

地球の外 圏の 構造を 考へる. } 困!!

空際上の 欠陥 (通信 考へる)

地下実験の 査察問題 } 査察
ソ連: 口内に入らぬ. 地下を 考へて. 佛の 停止.
米: 二小から 考へた 難し...

昨年 1月 を 考へて 停止 ありう であらう - と 考へる には 直ぐ 同 用 考へ できぬ.
米 国 の 中 で も, ソ連 国 の 今 回 の 成 果 を 分 析 し て 考へ 考へ 判 断 し 考へる.

小此木: (Missile + Rocket 1959): danger

- 1) 超高空 実験は A.H.M と 考へる こと.
- 2) この Test の 考へ 考へる.
- 3) 考へ 考へる 文句.

1) 先づ 軍事 目的で, 中性子 源 (8 Kiloton : 500 r / 3 mile), 連鎖 反応 を 考へ 考へる
ても, 熱 が 生 じ 考へる. Transister 系 を 考へる. 10. 120 米 は 考へ 考へる.

2) effect: 通信妨害 Van Allen belt 6000km ~ 10.VE の破壊が起る。
(自然月) Snger に対する批判, その反批判も出る。 Snger には
"1週間で Kilohertz 程度では ~~先~~ とはならない。 1MHz 50 Megahertz は no effect."
り達の 対米抗議: 宇宙研究の妨害,
Powell (女学行連): 予定できな^いときは、科学者の同意が | に付くは因。
口達はこの調査の^{予備}ための委員会をつくる。
中子

三宅: オリオンに多少の effect. sun spot と 気象に correlation がある。
超電圧実験は、余り

討論 田中: Van Allen Belt の破壊の意味はな^いだろ。 800km は高いと云う
小島: Yes, 正軌道の問題。 こいさいさ
田中: megaton じゃ A.M. H に足りないか。
豊田: 今度の実験と停止の可能性。

小島: 地下実験の探知可能性を米軍で判り出した。
それでは六ヶ所圏で起きているので、 point source とは別だ。

豊田: Beche 報告は 1st chap だけ見ると 2nd, 3rd は未発表。 その中に
Pb 3.5 hr が見出された(ことか shocking) つまり 直所は極めて危険(ある)。
Beche は核実験は必ずやると云う。

田中: 方向性^の feasibility についての可能性と云う
田中: Pb があつた。 相対質量を用いて、こいさ方向性さ^のに用いる。

豊田: Californium の critical mass を小さくできるか。

12e3

核実験停止の可能程。

豊田: feasibility effect は 殆ど 詳細に できている。 critical mass は 運搬手段で 解決できる。
explosion の 意味は 余り なく なる。 Inspection は、両者の 問題に 対して どの 程度 ではないか。

山田: 核力の および 大きさ に関して cover する 可能程は どの 程度 ではないか。
お田: 永田 氏は、センサー 船の 関係で、^{US 船} 査察 する 可能性 がある。

豊田: 多少の 冒険 は 必要 ではない、しかし 万全の 確立 できている。

小沼: とすると 核実験 は 意味 なくなる。

朝永: 核実験 防止 がある。

明日の テーマ。

田中: 通信 妨害 の ^{の stability} deterrence におよぼす effect を 示す 必要がある ではないか。
adi-chronized command を 妨害 する。

堀田: Blackout と Nagata 解釈 との 相違 あり、今後の 方針 には ~~その~~ effect。
Nagata には missile gap がある。 赤松 が 西側 を 斥いて いる。 この gap は 依然 として 克服 できる。

小沼: マクマ+α